



第九たいはず

Beethoven

No.25 2016.11.17 通刊1215号 担当 Todo

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

街中にはためく第九の赤いフラッグ。駅にもポスターが貼られました。気分を盛り上げ指揮者レッスンに備えましょう。

◆ 来週24日は指揮者レッスンです！

いよいよ来週は、指揮者の渡邊一正氏をお迎えしてのレッスンです。今年はこの1日しかありませんので、万障お繰り合わせのうえ、必ずご参加ください。できるだけ遅れないようにお願いします。

◆ 演奏会時のポインセチアについて

演奏会のクリスマスメドレー、ハレルヤを歌う際、毎年赤いポインセチアを胸につけます。新人さんでお持ちでない方、また無くしてしまった方は係の者が用意しますので、パートリーダーに申し出てください。衣装等については会場に貼ってある注意事項をよく読んでおいてくださいね。

◆ 演奏会当日の団員用駐車場について

出演団員に限り、音楽センター北側もてなし広場になります。出入口は北側(NTT側)。使用許可書を発行しますので、車の外からよく見えるダッシュボードの上に置き誘導係の指示に従って駐車してください。ただし、時間で施錠し、レセプション終了まで出庫できません。終演後に早く帰りたい方は周辺の有料駐車場に入れるか公共の交通機関を御利用ください。御協力お願い致します。

◆ 車椅子の方の駐車場について

演奏会に来てくださるお客様で車椅子等の方のために駐車場を用意します。利用については、T稲葉さんまで申し込んでください。会場内も車椅子の対応をしますので、必ず申し出ましょう。

◆ 第九演奏会の写真&CD申込受け付けます

演奏会の写真は井田写真館様に撮影を依頼しています。価格は1枚1,200円の先払い。自宅へ郵送いたします。CDは群馬音楽センターで録音して団にてCDにします。このCDは販売目的ではありません。団の参考資料として録音・CD化し、団員の皆様にのみ販売しております。ご承知おきください。価格は1枚1,000円。1月に練習会場で配布します。

※1月以降練習に参加されない場合は、「練習会場に受け取りに来る」か、「送料を先払いして郵送する」かのどちらかを必ずお伝えください。時間が経つと、注文したことを忘れてしまったり、行き違いが生じることがありますのでよろしくお願いいたします。

◆ 演奏会に向け新人さんより抱負⑨ テノール 嘉瀬了(かせおさむ)さん

高崎第九合唱団の皆様こんにちは。7月7日に入団しました嘉瀬です。矢島さんにお誘いいただき、入団いたしました。入団手続きの日がたまたま誕生日でしたので、皆様に笑顔のハッピーバースデーシャワーで歓迎いただくことになってビックリ！！私は今日まで合唱とは全く無縁でしたので合唱の力は悲しいほどですが、皆様についていこうと必死です。仕事以外でこんなに懸命になるのはいつ以来でしょうか？

今日は軽井沢合宿の2日間を無事(?)に終えることができました。合宿では、赤羽団長のいつもながらの絶妙な統率力に感嘆です。瀧川先生のベートーベンと第九の特別講義はすごく良かったです。皆様との交流も含め、至福の時間でした。



12月10日の本番当日まで、カウントダウンが始まりました。

招待した妻、そして三女とそのフィアンセの笑顔のために精一杯頑張ります。

心優しき高崎第九合唱団の皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします。

◆ 私のチケット販売方法

テノール 萩原 渉さん

連絡相手は、家族・親戚、地域の人、昔の同僚・先輩・後輩・教え子、入院した時に知り合った人や院長先生、保険関係の人、体育協会の人、地域のコーラスの人などです。

連絡方法は、メール、電話、はがき、封書等です。内容は「テノールの錦織健さんが出演する今年の高崎第九演奏会は12月10(土)です。ご希望がございましたら〇月〇日までにご連絡ください」。ポスター掲示の依頼は公民館、理髪店、パン屋さん、藤岡市教育研究所などです。

◆ 今後の予定

12月10日(土) 第43回 第九演奏会(群馬音楽センター)

12月18日(日) 足利の第九(男声の応援をお願いします)

12月15・22・29日および2017年1月5日(木)の練習はお休みです。

◆ 「初！合宿」

村上 香織さん

「どこでもドアがあったらいいな」そう思うことがある。その1つがこの第九の練習だ。沼田市から通うこと、仕事が忙しいことなどを理由になかなか練習に行くことができないからだ。平日の練習では「声がでない」「音程や歌詞がわからない」など練習不足なため、不安なことだらけ。そこで遅れを取り戻そうと仕事の都合をつけて合宿に参加することにした。

初めての合宿、実は緊張していた。「たくさん練習する」とか「他のパートの人と隣になって円陣を組んで歌う」など話を聞かされた時に想像が膨らみドキドキだった。でも、パート練習では発声の仕方や音とりなどを丁寧に教えていただき「声が出たかも」「歌い方が分かったかも」と何かをつかめたと思える瞬間があった。また、全体での合唱では他のパートを聴き、つられそうになりながらも歌えることの喜びを味わえた。何より「演奏会」という同じ目標をもった人たちといろいろな話をするという貴重な時間をもてたことが良かった。そして、自分は高崎第九合唱団の一員なんだと実感することでもできた。演奏会まであと少し。「合宿でやったの忘れちゃったの」と叱咤激励される様子が思い浮かぶ。それでも音楽センターに来てくださった方に「良かった」と思っていただけよう練習に通いたいと思う。

(撮影: 小野里事務局長。他の写真は HP に掲載されています。)



◆ 愛のなかの女性たち

赤羽 洋子団長

高崎市美術館で開催中です、と言っても明日18日までですが！

チラシの最初に……愛しい人の、今この瞬間の姿を永遠に残せたら……何ともロマンチックな言葉が目飛び込んできました。テーマは女性、「母と子」「恋人のいる風景」「愛と死の聖女たち」入館して初めに目についたのは脇田和の「鳥に話す」軽井沢で何度も観ていますが、本当に鳥を愛し、生命に対する優しさに溢れています。ヘンリ・ムアの「母と子」母の子供に対する愛情が湧き出して心とみ、私も母だった時代を懐かしく思い起こしました。アムステルダム特別展で観たムンクも何点もありましたが5歳で母親を亡くし、代わって育ててくれた姉を結核で失った彼の心は別離の悲しみで構成されているのでしょうか。エコールドパリで活躍したマリーローランサンは少し悲しい目をした少女の絵でした。今回の展示作品の中で一番好きだったのはシャガール「ダフニスとクロエ」派手な色使いなのに何故か穏やかで夢の世界のような美しさです。東京の美術館に行けば素晴らしい作品に会うことは出来ますが、お忙しい皆さんにとって時間とお金の節約になる身近な美術館も覗いてみたら如何ですか？お勧めですよ。更に私はシニアで入場無料です。